



なかましんぶん

H30年11月1日 VOL92 小川和代



子どもは常に未来に向かっていきます！おとなはまだまだ運動会の余韻に浸っていたいところですが、こども達は日々今日を生きています！！プール、運動会と過ごしてきた中、秋の自然や、ハロウィンに触れ楽しみ、春以来のまったり散歩を楽しみました。春に比べて遊び方が成長していたり、友達との関わりがスムーズになっていたり、ずいぶん大きくなったな～なんて感じる10月でした。

保育所保育指針改定

2018年4月より国が定める保育所の基本方針である「保育所保育指針」が改訂されました。今回の改定では、保育所・幼稚園・小学校の基本方針が同時に改定されました。そして、中学校も来年度から新基本方針に則って教育が展開されることとなります。同時が当たり前のようですが、前回の改定まではそれぞれが別々に行われていたのです。今回の同時は実に画期的なことなのです。今まで各教育や福祉の機関ごとに組立られていた基本方針が統一され、学びがつながっていく事が打ち出されたからです。子どもはバームクーヘンみたいに大きくなって行くものなのに、今までは機関ごとで0からスタートするような流れだったのです。基本方針が揃うという事は、成長に応じてその続きの教育がつながっていくという事です。

3つの資質・能力

では、その中心となる考えとはどんなことなのでしょう？それを究極に単純にしたのが「3つの資質・能力」です。一つ目は「学びに向かう力・人間性」二つ目は「思考・判断・表現力」三つ目が「知能・技能」です。3つという究極にまとめようとするところがいかにもお役所的なのですが、「・」がいっぱいあって全然3つではないですよ～（笑）そう、教育や学びというものを要約して表現することは本当に難しいのです。人はいつでも、自身の学びとり方で、様々なことを手掛かりに学んでいき、結果的に多面的な学びを得ているのです。改定により乳幼児・児童・生徒を預かる現場では、一体的に育つ「資質・能力」の3つの柱を基に、これからの教育が展開されていくこととなります。

具体的に、当園4.5歳クラスのミーティングから説明してみます。日々、実に多岐にわたる内容が繰り広げられています。それに応じて子ども達の頭の中の思考回路は活発に働いています（思考）。自分の考えをどう表現したら良いか失敗と成功を繰り返し（表現力）少しずつ説得力が増していきます（技能）。いろいろな意見を総合した結果、皆で取り決めていくこと（判断）を日常に繰り返しています。話の内容によっては、お母さんやお父さんに聞いてみよう！（知能）という事になり、数日がかりで考えをまとめていく事もしばしばです。そしてそのすべてが、学びに向かい、自分自身の人間性を高めていっていることに他ならないのです。こうして、こども達は「教えられる」というより、自ら理解していきます。そのことから、今教育の現場では「主体性」という言葉がクローズアップされているのです。

この基本方針は更に、幼児期・小学校・中学校・高校以上というステージにも分かれています。こうした育ちが成長と共に上まで途切れることなく続いていく事をイメージしやすくするために、今回はじめて指針に、小学校との接続期・幼児期の終わりまでに「育てほしい10の姿」が具体化され示されました。来月から、少しずつ子ども達の様子を絡めながら紹介したいと思います。